



全教石狩札幌 三二通信

2013年

11月6日(水) No.16

全教石狩札幌

電話 fax011-742-0103

組合メール zenkyo-egao

@lagoon.ocn.ne.jp

<http://zen-is.xsrv.jp/>

合同教育研究全道集会

3連休の11月2日(土)と3(日)、今回も秋晴れの下「合同教研」が、かでの2.7で行われました。

一日目は、9時45分から「テーマ討論」が5会場でスタート。道教組が担当した『「競争と管理」を乗り越える実践・学校づくり』には、730号室に入りきれない程の人で埋め尽くされ、関心の高さがうかがえました。



はじめに、30代、40代、50代の3人のパネラーから、それぞれ報告がありました。

北見市西小の山本仁史さんは、初めて2学級規模の学校へ赴任し、自己肯定感が薄く家庭とのふれあいも不足で大変な5年生の担任としてスタート。勉強の楽しさを伝え

ようと算数中心に教具の工夫や遊びの導入、そして、少人数クラスをお願いするなどして、みんなで見ていく体制に学校を動かした自分に自信がついたと報告。

次に、40代のせたな町大成中の青木治真さんは、研究部長として、毎週木曜日の5校時に交流授業を行い、空きの先生は必ず見に行くようにして、6校時には話し合いの場を設定。自称“no man”と言いながらも、校長の考えにも配慮して、研究の「キーワード」だけをつくり「葛藤と共有」とし、<思考>→<表現>→<響き合い>の授業実践を校内で進めていったこと。それを実行できた原動力は、先生方は、いい授業をしたい、授業を楽しくしたいと思っているからであり、色々な立場や考えの違いを乗り越えて話し合っていく中で、先生方が仲良くなり連帯感が生まれてきたこと。しかし、参観日に、ある保護者からの感想で「生徒がうるさい」とあり、それは試行錯誤をしながら話し合う授業だからそうなるのだが、もっと保護者もいい授業だなと思ってもらえるようにしていきたいと締めくくりました。

続いて、札幌の手稲鉄北小の阿部俊樹さんが報告。札幌の現状として、子どもを見る時間よりパソコンの方が長くなっていたり、説明責任がうるさく通知表直しに追われたり、公務支援システム導入によって逆に時間がとられている実態が紹介。その対策として、若い人や困っている人への声掛け、先生方に子どもの作品の審査員になってもらったり管理職にも活躍の場を提供したり、校内研修会では自分の実践を発表して一緒に研究していくことや保護者と信頼をはかるために学級通信の製本を手伝ってもらうことなどが出されました。

その後、質疑応答が行われました。「日頃の実践や学校づくりに子どもの権利条約のことをどう考えているのか?」、「研究のキーワードの意図は?」、「若い世代に、先輩から学んできたことをどう伝えていくかが課題だ」、「自己責任論をどう打開するか大きな課題だ」、「学芸会を子ども主体にしようと一石を投じた」、「授業以前の問題として、ここ最近学級から飛び出す子も増えている。余裕のなさの現れでは?」、「親の意見も聞いてほしいとの声が上がっており、語りの場を取り戻すことが重要だ」など、終了の12時15分まで活発な意見が飛び交いました。

午後からは、24の分科会が2日日程で始まりしました。

その後、「教育のタベ」がホールで行われ、約200名が参加。記念講演「学力向上路線より授業王国を～美浦村の教育委員会活動～」と題して茨城県美浦村教育長の門脇厚司さんが約1時間半お話をしました。札幌に午後に来て、講演後9時の飛行機ですぐに戻らなければならな

11月の分会活動

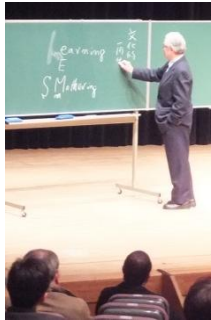
学校や分会の状況を考えて、できる事をしましょう。

- 1 2学期の職場・学年・学級・教科の実践計画をみんなと話し合い、作りましょう。
- 2 署名活動やビラ等を配布しながら、まわりの先生達と教育・子どもの事について語りましょう!



いという超ハードな日程にもかかわらず、73歳とは思えない矍鑠とした様で板書もしながら持論を展開。話したいことは何時間でもあると、開口一番まずは「危ない闇」(アブナイカク)の悪事を並べたら30数個にもなり、今程、先生方にしっかりしてもらわなければと思って飛び回っていると自己紹介。

その後、美浦村での取り組みとして、「消“運動”(NO T.V、NO GAME)を始めたところ好いことづくめなこと。「本の読み合い」といって、見ず知らずの人とペアをつかって読み聞かせを通して出会いを図っているとのこと。



その反対に、今の教育はほとんどないことをしていると警告。そこで、きわめて不透明な時代を迎えている今日において、「互惠的共同社会」を目指す「社会力」を育てること。そこで大事なことは、だれとでもよい環境をつくることであり、自分の能力を誰かのために使う社会をつくる以外にないと話を締めくくりました。

今回の集会には、全教石狩・札幌からも11名の組合員(渡辺・久保田・瀬川・山中・三塚・中川・吉田・小西・秋山・神保・佐々木)が共同研究者やレポーター、司会者、運営委員・一般参加として参加しました。次回の合同支部会議(11/23(土))では、分科会の報告会をしてみんなで合研の成果を学び合いたいと思います。



賃金確定交渉

11月7日からスタートする今年の賃金確定交渉は、①道独自削減の中止 ②現給保障の継続 ③「雇用と年金の接続」のための再任用制度 ④勤勉手当「査定」制度の廃止 ⑤超勤縮減問題 です。

交渉の結果は、全石狩札幌教職員組合のホームページに載せます。「全石狩札幌教職員組合」で検索するとホームページが出ます。ニュースの欄をクリックして見てください。

会計から

10月分の納入をお願いします。よろしくをお願いします。

労金引き去りを希望の方や、郵便振替の方で、振込用紙が、無くなりましたらお知らせください。

今後の日程

- 11月7日(木) 道教委賃金交渉1回目(秋山・佐々木)
- 12日(火) 書記局会議
- 14日(木) 札幌市教委人事要求書交渉(神保・小西・佐々木)
道教委賃金交渉2回目(秋山・小西・神保)
- 19日(火) 道教委賃金交渉最終20日なりそう。(小西・佐々木・神保)
- 23日(土) 合同支部会議 13時半から16時半まで**
- 26日(火) 書記局会議

12月3日(火) 書記局会議

7~8日 春闘学習討論集会 13時半から8日12時半まで 定山溪ビューホテル
温泉でゆっくりできます、参加者1名募集中(参加費交通費道教組で支払い)

8日(日)「今、戦争・平和・教育を考える」集会
道退教主催 高教組センターにて13時半から16時

10日(火) 書記局会議
「国旗・国歌の強制で学校が危ない」市民集会
18時半から高教組センター

14日(土) 道教組代表者会議(佐々木) 13時~

15日(日) 子どもセンター総会(小西) 9時半から

17日(火) 書記局会議

21・22日に政令都市交流会 静岡にて(小西)

1月5~6日に、夕張にてスキー研修

会議予定

11月23日(土) 合同支部会議
2014年2月15日(土)
全石狩札幌教職員組合第10回定期大会

(予定です。土曜参観とか学校行事がないか2月22日の方が良いのか、確認して決定します。)